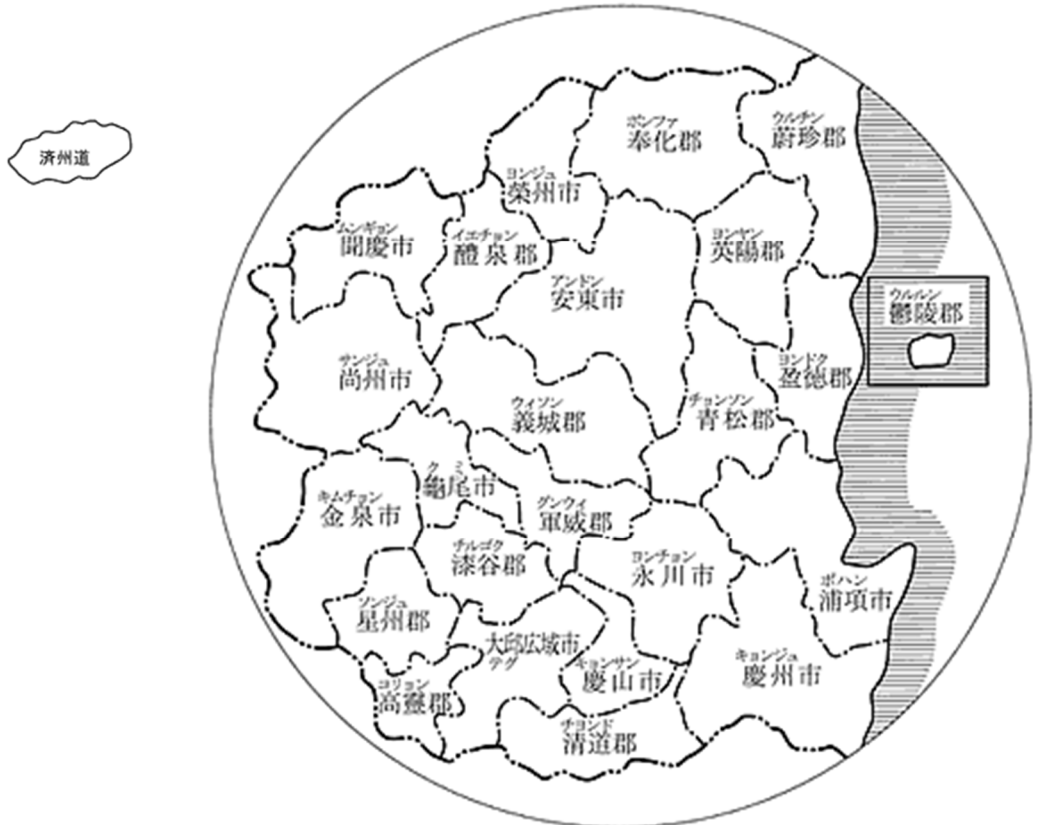


(1) 韓国・慶尚北道



※大邱広域市は1981年に道と同格の広域自治体となったため、慶尚北道の面積、人口等各種データには含まれていません。

① 慶尚北道の概要

1. 面積：19,029 km²
2. 人口：2,700,398人（2016.12.31現在）
3. 道庁所在地：安東市豊川面道庁大路455
4. 道知事：金寛容^{キム グァニョン} 2006年7月～（2014年12月再選）
5. 気候：大部分を山地に囲まれ、気温の差が大きく、年間降水量は900mm～1,300mmで、内陸地方は夏が暑く、雨が少ない。
6. 産業：従来、第一次産業の就業比率が高かったが、2006年には、第一次産業24.1%、第二次産業17.5%、第三次産業58.4%となり、第三次産業の比率が最も高くなっている。主要農産物は、りんご、ぶどう、ももなどで、これらは全国1位のシェアを占めている。
工業については、積極的に工業団地を造成しており、韓国を代表する電子産業都市亀尾市、鉄工業を中心とする浦項市などを擁している。

② 「姉妹提携」調印までの経緯 【調印日：1989(H元)年10月6日】

年度	時期	内容
1981(S56)	7月	恒松知事が慶尚北道を訪問。
1982(S57)	4月	金聖培 ^{キム ソンベ} 知事一行(5名)が友好親善のため島根県を訪問。
	6月	水津教育長・高橋総務部長が慶尚北道教育委員会教育監に招待され、慶尚北道を訪問、教育事情を視察。
1988(S63)	8月	島根県ユネスコ協会主催で第1回日韓親善島根少年の船派遣。1990(H2)年から、(財)しまね国際センター主催で2008(H20)年まで派遣。
	10月	環日本海日韓国際交流会議開催。同会議に出席していた地方行政同友会会長金甫炫 ^{キム ボヒョン} 氏の仲介で慶尚北道との姉妹提携への話し合いが進む。
	3月	県議会で澄田知事が大韓民国慶尚北道との姉妹提携を実現させたい旨表明。
1989(H元)	6月	大野総務部長が慶尚北道庁を訪問。姉妹提携の意向を伝達。
	7月	林敬鎬 ^{イム キョンホ} 副知事一行が来県。
	8月～11月	慶尚北道公務員(4班、約120人)が視察研修のために来県。
	9月	澄田知事を団長とする約100人の親善訪問団が慶尚北道を訪問。
	10月	金相祚 ^{キム サンジョ} 知事が来県。両県・道幹部や各界の代表者を迎えて姉妹提携調印式を実施。姉妹提携が実現し、末永い交流を誓いあった。

③ 主な交流事業

ア. 訪問団等派遣・受入（2000(H12)年度以降）

(ア) 派遣

年度	時期	人数	内容
2000(H12)	10月	72 6	慶州世界文化エキスポ2000「日本の日」関連事業参加 議会親善訪問団
2001(H13)	2月		定例事務協議
2002(H14)	5月	5	環日本海松江国際交流会議講師招請にあわせ親善訪問

年 度	時 期	人 数	内 容
2003 (H15)	10 月	60	2003 慶州世界文化エキスポ「日本の日」への参加
	10 月	4	議会親善訪問団
	2 月		定例事務協議
2004 (H16)	5 月		環日本海松江国際交流会議講師招請にあわせ親善訪問

(イ) 受 入

年 度	時 期	人 数	内 容
2000 (H12)	1 月		定例事務協議
2002 (H14)	1 月		定例事務協議
2003 (H15)	7 月	6	議会親善訪問団
2004 (H16)	8 月	1	島根県・慶尚北道姉妹提携 15 周年の記念にあわせ親善訪問
	1 月		定例事務協議

イ. 職員の相互派遣

派 遣		受 入		
期 間	氏 名	期 間	氏 名	摘 要
1992 (H 4). 4. 1～1994 (H 6). 3. 31	荒 木 聡	1990 (H 2). 11. 1～1992 (H 4). 9. 30	権 永洙	国際交流員 として
		1992 (H 4). 10. 1～1993 (H 5). 9. 30	金 相根	
1994 (H 6). 4. 1～1996 (H 8). 3. 31	榎 原 由文	1994 (H 6). 2. 1～1995 (H 7). 1. 31	ファン 丁弘	道派遣職員 として
1996 (H 8). 4. 1～1998 (H10). 3. 31	中 澤 信善	1995 (H 7). 2. 1～1997 (H 9). 1. 31	キム 載漢	
1998 (H10). 4. 1～2000 (H12). 3. 31	津 森 仁	1997 (H 9). 2. 1～1999 (H11). 1. 31	キム 慶東	
2000 (H12). 4. 1～2002 (H14). 3. 31	松 本 司	1999 (H11). 2. 1～2001 (H13). 1. 31	チャン 聖燮	
2002 (H14). 4. 1～2004 (H16). 3. 31	松尾 周一郎	2001 (H13). 2. 1～2004 (H16). 2. 24	イ 應源	
2004 (H16). 4. 1～2005 (H17). 2. 23	山根 健太郎	2004 (H16). 4. 19～2005 (H17). 2. 23	ヤン 承哲	

ウ. 道職員国外職務訓練員の受入

期 間	氏 名	研修機関
1996 (H 8) 年 6 月～1997 (H 9) 年 7 月	禹 貞愛	観光振興課
1997 (H 9) 年 7 月～1998 (H10) 年 6 月	イ 李 祥琦	自治研修所

エ. 文化交流

島根県・慶尚北道交流美術展

島根県と慶尚北道の美術作家の交流とその作品を広く島根県・慶尚北道の人々に紹介することを目的として「島根県・慶尚北道交流美術展」を開催。相互に訪問団を派遣し作家同士の交流を深める。

回 数	開催年月日	開催場所	訪問団
第 1 回	1998 (H10). 8. 13～19	島根県立博物館	慶尚北道 6 名
第 2 回	1999 (H11). 7. 12～17	亀尾市文化芸術会館	島根県 12 名
第 3 回	2000 (H12). 7. 25～30	島根県立美術館	慶尚北道 15 名
第 4 回	2002 (H14). 7. 25～29	亀尾市文化芸術会館	島根県 18 名
第 5 回	2003 (H15). 7. 23～27	島根県立美術館	慶尚北道 8 名
第 6 回	2004 (H16). 7. 23～27	安東市民会館	島根県 4 名

オ. 教育学術交流

(ア) 県教育委員会と慶尚北道教育庁との友好交流協定の締結

1996(H8)年7月26日に教育行政分野の交流を一層推進するため、友好交流協定を慶尚北道において締結し、1997(H9)年9月から教員の相互派遣を実施。

(イ) 島根県教育委員会古代文化センターと国立安東大学校附設民俗学研究所の学術交流

1996(H8)年7月13日、松江市において姉妹提携協定を締結。

(ウ) 島根県立大学と慶北大学校との交流

時 期	内 容
1999(H11)年 5月	島根県と慶北大学校との交流に関する協定を締結 専任教員派遣に関する協定を締結
2000(H12)年 10月	県立大学と慶北大学校が交流協定を締結
2001(H13)年 8月～	県立大学生が異文化理解研修で慶北大学校を訪問 2001(H13)年：8名、2002(H14)年：12名、2003(H15)年：12名、 2004(H16)年：9名
2004(H16)年 4月 10月 12月	県立大学教授として慶北大学校 <small>フンテウ</small> 王泰雄教授が就任（～2005(H17)年3月） 県立大学・慶北大学校・吉林大学の共同シンポジウムの開催 学生交流に関する覚書を締結

(エ) 島根県立大学と慶尚北道との交流

時 期	内 容
1999(H11)年 10月 11月	日本国島根県と大韓民国慶尚北道との留学生交流に関する協定を締結 日本国島根県と大韓民国慶尚北道との両県道立大学の交流に関する協定を締結
2000(H12)年 4月	島根県と慶尚北道との留学生交流に関する協定に基づき、慶尚北道から2名の留学生受入を実施。以降毎年2名ずつ受入れ
2001(H13)年 9月	県立大学と慶道大学が交流協定を締結
2002(H14)年 3月	慶道大学から事務職員1名を受入れ、事務研修を実施
2003(H15)年 7月～ 8月～	慶道大学語学研修団が来学 2003(H15)年7月：19名 2004(H16)年6月：15名 県立大学生が儒教文化体験研修で慶道大学を訪問 2003(H15)年8月：17名、2004(H16)年8月：21名
2004(H16)年 9月	県立大学と慶道大学が交流協定を更新

(オ) 県立三瓶自然館と道自然学習院との交流

島根県は1995(H7)年度から環日本海地球環境行動ネットワーク構築事業の一環として、友好交流関係にある北東アジア地域の野生動物の調査研究、自然保護行政について、情報交換や検討協議を続けており、その成果により1999(H11)年3月に「島根県立三瓶自然館・慶尚北道自然学習院交流に関する協定書」を締結し、同年より毎年夏に両県道が相互に訪問して交流を深めている。

2003(H15)年7月31日～8月6日、島根県から小中学生29名、引率者5名の計34名が慶尚北道自然学習院を訪問。2004(H16)年7月29日～8月2日、慶尚北道青少年自然体験団38名が来県。

(カ) 水産交流

慶尚北道との姉妹提携以降、両県道の間で水産情報・水産技術等の意見交換を推進することにより友好親善と相互理解を深め、共通課題の解決を図ることを目的に水産関係者の交流を開始。1996(H8)年に「慶尚北道・島根県水産交流推進協議会」を設置し、水産関係者の相互訪問により協議会を実施。

2003(H15)年度：慶尚北道から4名が来県

2004(H16)年度：島根県から訪問団を派遣

カ. その他

(ア) エキスポ出展

(a) 1998 慶州世界文化エキスポ出展事業

1998(H10)年9月11日から11月10日まで、慶尚北道の主催で「'98 慶州世界文化エキスポー新千年の微笑ー」が慶尚北道慶州市で開催された。島根県は、日本で唯一このエキスポの「姉妹地域館」にブースを出展。島根県と韓国との歴史的文化的な繋がりの深さを表現するため、加茂岩倉遺跡、神庭荒神谷遺跡から出土した銅剣、銅鐸、銅矛の青銅器レプリカを展示の中心とし、連日2万人を超える来場者に島根県の魅力と来県手段をPRした。また、10月17日の「日本の日」を中心に三刀屋太鼓、掛合太鼓が和太鼓を公演。このうち三刀屋太鼓の公演は、韓国全土にテレビで生中継された。

(b) 慶州世界文化エキスポ 2000 出展事業

2000(H12)年9月1日から11月26日まで「新千年の息吹」をテーマに慶州市で開催された。

1998(H10)年に続き島根県は「姉妹地域館」に出雲大社をイメージしたブースを出展し、島根の古代文化をとおして韓国との交流を紹介。10月27日～30日には、江口副知事を団長とする訪問団72名が出雲空港からのチャーター機で韓国に入り、会場を訪れた。10月29日の「日本の日」には、訪問団代表の記念式典参加、益田市の「神和会」による石見神楽公演、出雲そばのそば打ち実演と試食会を開催し、会場の模様はラジオ生中継などとおして県民に伝えられた。

(c) 慶州世界文化エキスポ 2003 参加事業

第3回目となる慶州世界文化エキスポが2003(H15)年8月13日から10月23日まで、「天馬の夢」をテーマに慶州市で開催された。島根県からは10月12日の「日本の日」にあわせ、今岡出納長を団長とする公式訪問団、三刀屋太鼓振興会、民間交流団体としてイワミ慶州エキスポ交流実行委員会及び安来節保存会加茂支部の計60名が訪問し、島根県の文化や観光、物産をPRした。

(イ) 新国際交流フォーラムへの参加

2001(H13)年10月22日～25日、慶尚北道において開催された「新国際交流フォーラム」へ県から3名が参加し、県の概要、施策について発表した。慶尚北道の姉妹提携自治体5カ国10名が参加。

(ウ) 島根県・慶尚北道姉妹提携 15 周年記念事業

2004(H16)年9月7日～8日に開催される第5回北東アジア地域自治体連合総会（中国黒龍江省ハルビン市）参加に先立ち、松尾副知事と李義根知事による記念会談を実施。15年の歩みを振り返るとともに、今後の交流促進について意見交換を行った。

11月3日に島根県民会館で開催される国際民俗芸能劇場「しまね座2004」本公演楽劇「しまね大田楽」には、韓国芸總慶尚北道聯合會から伝統芸能団を招聘。韓国の民俗舞踊の他、インドネシアや島根県の参加者と共演した。また、松江市内の小学校を訪問し、韓国の伝統芸能の紹介や、小学生による韓国舞踊の体験など、次世代を担う若い世代との交流を深めた。



一方、慶尚北道との草の根交流の促進を目的とした民間交流団体に対する経費一部助成を実施。ジャズ音楽でのセッションを通じた交流（日韓音楽交流実行委員会）、韓国人日本語学習者との交流（日本語ボランティアグループ“だんだん”）、「日韓の女性の役割」をテーマに嶺南大学校附属平生教育院との意見交換を通じた交流（出雲女性文化交流会と出雲オモニ会）のそれぞれが成功をおさめ、15周年記念に華を添えた。

なお、15周年記念事業の実施にあたっては、両県道の協力により共通のロゴマークを作成した。

(エ) 技能交流

時 期	内 容
2000(H12). 4. 20～28	「韓日友好技能競技大会」に9名の選手団を派遣
2001(H13). 11. 22～28	「第21回技能グランプリ」に慶尚北道から6名の選手団を招聘
2002(H14). 4. 17～23	「慶尚北道－島根県友好技能競技大会」に7名の選手団を派遣
2003(H15). 10. 2～6	「日韓友好技能競技会」に6名の選手団を招聘。

(オ) 在釜山日本国総領事館主催日本語弁論大会

1984(S59)年から在釜山日本国総領事館では管内（慶尚北道・南道、大邱・釜山・蔚山広域市）で日本語を専攻している韓国人大学生を対象とした弁論大会を開催している。島根県では慶尚北道との姉妹提携が縁となり、1993(H5)年の第10回大会から後援し島根県知事賞を贈っている。

また、受賞者を招致し、県内の視察やホームステイ等の交流を行っている。

(過去10回)

回 数	開催年月日	参加代表者	受賞者の来県年月日
第20回	2003(H15). 10. 25	大矢国際課長補佐	2004(H16). 1. 24～1. 26
第21回	2004(H16). 10. 30	井上環境生活部長	2005(H17). 1. 15～1. 17
第24回	2007(H19). 11. 10	樋野文化国際課長	2008(H20). 1. 12～1. 14
第25回	2008(H20). 11. 1	升田環境生活部次長	2009(H21). 2. 10～2. 15
第26回	2009(H21). 10. 31	村川環境生活部次長	2010(H22). 1. 29～2. 2
第27回	2010(H22). 10. 9	月森環境生活部長	2011(H23). 2. 18～2. 22
第28回	2011(H23). 10. 29	伊藤環境生活部長	2012(H24). 1. 27～1. 31
第29回	2012(H24). 10. 28	山王寺環境生活部参事	2013(H25). 1. 18～1. 22
第30回	2013(H25). 11. 2	山王寺環境生活部参事	2014(H26). 1. 10～1. 14
第31回	2014(H26). 11. 8	若槻文化国際課長	2015(H27). 2. 13～2. 17

2015年は、日本文化に関連する部活動をしている高校生を対象とした「日本部活動大会」に名称を変え第1回大会が行われた。本大会においても後援し島根県知事賞を贈り、受賞者を招致した。

回 数	開催年月日	参加代表者	受賞者の来県年月日
第1回	2015(H27). 9. 19	津森国際交流グループリーダー	2016(H28). 1. 15～1. 19

2016年は、日本語や日本文化を学ぶ高校生を対象とした「日本クイズ大会」を後援し、入賞者に島根県知事賞を贈り、受賞者を招致した。

回 数	開催年月日	参加代表者	受賞者の来県年月日
第4回	2016(H28). 7. 9	松岡環境生活部参事	2017(H29). 1. 13～1. 17